

島根大学地球科学科の JABEE コースで体験したメリット ～学生の立場から～

仲山 暢（島根大学大学院自然科学研究科修士課程 1 年生）

1. 講演者によるご挨拶

はじめまして、島根大学大学院所属の仲山 暢（なかやま とおる）と申します。この度はこのような機会を設けていただきありがとうございます。JABEE プログラムで学んだ地質系の内容について振り返る良い機会となりました。去年の 3 月、私は島根大学地球資源環境学科（現・地球科学科）を卒業し、同時に JABEE プログラムの修学を終えました。思い返せば、4 年間の充実したカリキュラムの中で、自身の大幅なスキルアップにつながったと実感しています。今回は島根大学地球資源環境学科の学生が日々、JABEE プログラムで学んでいる内容について少しでも知っていただければと思い、カリキュラムを踏まえながら 10 分ほどプレゼンテーションさせていただきます。もしも疑問点がありましたら、何なりとご質問ください。

2. 島根大学地球資源環境学科（現・地球科学科）の JABEE プログラムについて

島根大学総合理工学部地球資源環境学科は、理学部から総合理工学部への学部改組に伴って、1995 年に発足した。前身の文理学部地学科および理学部地質学科から数えると、今年で 81 年の伝統を有する。地球物質システム学（岩石学、鉱物学、資源地質学など）、環境地質学（層序学、古生物学、汽水域科学など）、自然災害工学（岩盤工学、地盤工学、水文地質学など）の 3 講座から構成され、工学系の教員も所属する理工融合学科である。当学科のプログラムは、2003 年度に「地球・資源およびその関連分野」で JABEE プログラムに認定された。当プログラムは学科の全学生（1 学年定員 50 名）を対象としており、コース設定をしていない。2018 年には総合理工学部の改組に伴って「地球科学科」と名称変更されたが、カリキュラムや定員は変更されていない。

当プログラムの強みとして、自然豊かな島根大学の立地条件を活かした野外実習の充実があげられる。特に、3 年次の地球科学野外実習 II（進級論文）では、グループに分かれて野外地質調査、採取した岩石の薄片観察、地質図や断面図の作成、成果のプレゼンテーション、論理的な文章作成までを行っており、当プログラムの教育カリキュラムのうえで、地質調査能力、岩石鑑定能力、コミュニケーション能力、チームで協力して仕事を遂行する能力、およびデザイン能力の担保をする重要科目として位置づけられている。また、理学的視点と工学的視点を融合させた教育を志向しており、地質学を基礎としつつ、幅広い視野をもった地質技術者の育成を目指している。これを反映して、修了生には大学院進学者を含めて地質系企業等に進む者が多い。